学校番号	T3003

平成３１年度　工業科

教科	工業	科目	情報技術基礎	単位数	1	年次	2
使用教科書	精選情報技術基礎　新訂版（実教）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報化社会で必要な情報技術の基礎知識、コンピュータの基礎知識、簡単なプログラミングについて学習します。

2　学習の到達目標

・情報技術に関する基礎知識をしっかりと理解することができる。
・プログラミングに必要な基礎知識を習得する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報技術に関する基礎的な知識に興味・関心を持ち知識、技能を習得しようとする態度。	・問題の解決について考察し、問題解決方法を適切に判断し解決しようとする力。	・情報技術の基礎知識およびアプリケーションを活用して問題の解決をすることができる。	・情報技術の基礎知識を持ち、社会における情報化の進展と、情報の意義や役割について理解している。
評価方法	ノートの記述 定期考査の結果 授業態度	ノートの記述 定期考査の結果 授業態度	ノートの記述 定期考査の結果 授業態度	ノートの記述 定期考査の結果 授業態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	産業社会と情報技術	○情報と生活 ○情報化社会の光と影 ○コンピュータの特徴 ○コンピュータの発達 ○情報化の進展と産業社会 ○情報化社会のモラルと管理 ○情報セキュリティの管理	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○	a:情報に関する基礎的な知識に興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:現代社会において、どのようなところで情報技術が活用されているか、またコンピュータ犯罪がもたらす影響などについて考察することができる。 c:身の回りのどの機器にコンピュータが利用され、産業界などのどの分野で利用されているかをまとめることができる。 d:情報モラルや情報セキュリティなどネチケットを理解し、また身体に及ぼす影響などについても理解している。	ノートの記述 定期考査 授業態度
前期	コンピュータの基本操作とソフトウェア	○コンピュータの基礎操作 ○ソフトウェアの基礎 ○アプリケーションソフトウェア	 ○ ○	 ○ 	○ ○	 ○ ○	a:さまざまなアプリケーションソフトに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:ソフトウェアの分類やＯＳとハードウェアの関係などを考えることができる。 c: 問題解決の際に必要なアプリケーションソフトを選択・操作することができる。 d:アプリケーションソフトの特徴の違いや機能について理解している。	ノートの記述 定期考査 授業態度
後期	プログラミング	○プログラム言語 ○プログラムのつくり方 ○アルゴリズムと流れ図 ○プログラミングの基礎 ○順次処理 ○選択処理 ○繰返し処理	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:プログラミング言語に興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:プログラムを作るために必要なアルゴリズムを考えることができる。 c:アルゴリズムの作成と流れ図の作成をすることができる。 d:プログラムを読んで、どのような結果が出力されるか理解し考えることができる。	ノートの記述 定期考査 授業態度

後期	ハードウェア	○処理装置と周辺装置 ○データの表し方 ○論理回路の基礎	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	 ○	a:２進数、１０進数、１６進数や基本論理回路などに興味・関心を持ち積極的に取り組もうとしている。 b:１０進数の構成から２進数、１６進数の構成についても理解し、また基本論理回路の構成をについて考えることができる。 c: 基本論理回路を用いて任意の出力を得られるように回路を作成することができる。 d: 基本論理回路用いた応用回路、フリップフロップなどを理解している。	実習態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。